

平成二十八年年度事業報告

1、教化研究会議

【1】第四十九回中央教化研究会議

期 日 平成二十八年九月七日(水)～八日(木)

会 場 日蓮宗宗務院

参加人数 一一五名

資料展示 教区教研や教化センターが作成・発行し

た教化資料・発行物の展示を実施。

テーマ みつけよう、語り合おう、法華経の魅力

―法華経の教化学―

開催趣旨(開催要綱原文のまま)

一般的な書物や辞書による解説によれば、法華経は、初期大乘経典に属し、インドにおいて紀元五〇年から一五〇年あたりに成立したと考えられている経典です。その後中国・朝鮮半島を経て日本へ招来されたわけですが、我が国に渡来した法華経は成立時に書かれた言語ではなく、中国にお

いて漢訳された訳経としてでした。

現存漢訳本の六訳三存とされる法華経のなか、日蓮聖人は『法華取要抄』や『撰時抄』にその理由をお述べのように、名訳と謳われた鳩摩羅什訳『妙法蓮華経』を依経とされたのは周知のことです。

また、歴史を紐解けば、法華経は、経典が持つ除災招福や懺悔滅罪の面から広く信仰され、文化や芸術の面での影響は枚挙に暇がありません。

一方、我々教師にとつての法華経は、日々の勤行や、法会・法事・葬儀等々、無くてはならない存在であり、そこにあるのが当たり前になっています。当たり前になりすぎていつしか宝珠は衣の裏に隠れてしまつてはいないでしょうか。

これまで現宗研は、震災や人口減少、戦後七〇年といった社会に目を向けこれについて討議しあ

う場を設けて参りました。しかし、ここで原点に立ち返り、日蓮聖人が我々にお示し下さった偉大な宝珠について改めて問い直し、この宝珠の素晴らしさを社会に発信するべきと考えます。

本年の中央教研は、法華経の魅力を変えて問い直し、確認しあう事で、日蓮聖人が選り取られた法華経の感激と感動を今こそ檀信徒・未信徒の皆さんへ伝えて行く一助となる教研会議としたいと考えます。

そこで、まず、現宗研所長三原正資が基調報告として、「法華経は現代の私たちの物語」と題して教化学面からのアプローチを行い、ついで基調講演として、山口県立大学教授であり、当研究所嘱託の鈴木隆泰師に「法華経を現代に読む―インド学・仏教学の視点から―」と題し、最新の仏教研究の成果を踏まえた研究者の立場よりご講演頂いた上で、四つの分科会に分かれて多角的な観点からの問題提起と討議を行い、テーマ「みつげよう、語り合おう、法華経の魅力―法華経の教化学

―」としてまとめ、宗祖降誕八百年に向け、参加者が信仰の源泉を確認する場として頂きたいと考えます。

また、締め括りに、公益財団法人全国青少年教化協議会主幹であり、同協議会付属の臨床仏教研究所の上席研究員等の幅広い活躍をされている神仁師に、臨床仏教師についての基本理念や活動をご紹介頂く「現代社会における臨床仏教の可能性」と題する記念講演をして頂き、結びとします。

開催方式

- ①基調報告「法華経は現代の私たちの物語」
三原正資（日蓮宗現代宗教研究所長）
- ②基調講演「法華経を現代に読む―インド学・仏教学の視点から―」
鈴木隆泰（日蓮宗現代宗教研究所嘱託、山口県立大学教授）
- ③基調報告、基調講演を問題提起として、テーマに関連した左記の四分科会を開催します。

I 現代教化学部門「1」

長者窮子について

II 現代教化学部門「2」

虚空会について

III 現代教化学部門「3」

龍女成仏について

IV 現代教化学部門「4」

良医治子について

④全体会議で四分科会の報告を聞き、テーマ「みつげよう、語り合おう、法華経の魅力―法華経の教化学―」にまとめます。

⑤記念講演「現代社会における臨床仏教の可能性」

神仁じんひとし（公益財団法人全国青少年教化協議会主

幹・常任理事、臨床仏教研究所上席研究員）

⑥各教区教研会議報告書や討議資料、管区並びに教化センターで作成された教箋等の教化資料を展示し、教化情報のコーナーで宣伝します。各寺院教会結社や個人有志で発行のものは、各管区（教化センター）に委託してください。

参加者

教区教研運営委員、或いは内容に関心がある教師。

【2】教区教化研究会議

十一教区にて開催。日時・テーマは次の通り。

●第三十六回九州教区教化研究会議

平成二十八年六月九日～十日 佐賀県

ホテルニューオータニ佐賀にて開催

テーマ「いのちに合掌」～舍利供養の重要性～

基調講演『いのちに合掌』～舍利供養の重要性～

（埋葬の歴史と先祖観）

長澤宏昌師（山梨県遠妙寺住職）

第1分科会「遺骨供養の多様性」

第2分科会「葬儀の多様性」

第3分科会「愛玩動物供養の意義」

全体会議

●第四十六回近畿教区教化研究会議

平成二十八年六月十四日 兵庫県北部

養父公民館にて開催

テーマ「現世利益は間違いか」～福田とは何か？

現世に利益を与えられる教師像とは何か？

基調講演「現世利益は間違いか」

鈴木隆泰師（東京都善應院住職、山口

県立大学教授、現宗研嘱託）

4分散会

全体会議

●第四十回中四国教区教化研究会議

平成二十八年六月十四日～十五日 高知県

高知市要法寺にて開催

テーマ「教化の現場を考えるー地域と現代社会を

真摯に受け止めてー」

基調講演①「人々がお寺に求めているものー十年

後のお寺のために何ができるか？

ー」

薄井秀夫氏（株式会社寺院デザイン

代表取締役）

基調講演②「本光寺が取り組んできたものー『十

年間の成功と失敗』から得たニュー

トラルポジション」

尾藤宏明師（千葉県本光寺住職）

4分散会

全体会議

●第四十回北海道教区教化研究会議

平成二十八年八月二十四日 北海道北部

旭川市妙法寺にて開催

テーマ「死と向き合い豊かに人生を生きるーエイ

ジングノートの活用ー」

基調講演「死と向き合い豊かに人生を生きるーエ

イジングノートの活用ー」

久住謙昭師（神奈川県妙法寺住職）

2分散会 テーマ①死を迎える方にどのように僧

侶として寄り添えるか

テーマ②エイジングノート北海道版を

作ろう（エイジングノートをどのように

に活用するか？）

全体会議

●第三十四回東北教区教化研究会議

平成二十八年十月六日～七日 宮城県

仙台国際ホテルにて開催

テーマ『被災者の心に寄り添う』

基調講演『被災者の心に寄り添う』

宮村通典師（長崎県大法寺寄在、岩手

県立大植病院医師）

第1分科会「寺院・僧侶として出来る今後のケ

ア」

第2分科会「物心両面の支援活動 世代や地域に

ついて」

第3分科会「講演を聞いて次世代に伝えたいこ

と」

全体会議

●第四十回中部教区教化研究会議

平成二十八年十月十八日 岐阜県

多治見市産業文化センターにて開催

テーマ『心によりそう僧侶のあり方』～仏教カウ

ンセリング入門～

基調講演『心によりそう僧侶のあり方』～仏教カ

ウンセリング入門～

鈴木康明氏（東京福祉大学・大学院教

授）

2分散会（ワークショップ）

全体会議

●第三十三回北陸教区教化研究会議

平成二十八年十一月二十二日 富山県

富山県民共生センター サンフォルテにて開催

テーマ「私のお寺の健康診断」

基調講演「私のお寺の健康診断」

薄井秀夫氏（株式会社寺院デザイン代

表取締役）

6分散会

全体会議

まとめ講義・質疑応答 講師・薄井秀夫氏

●第三十四回千葉教区教化研究会議

平成二十九年一月二十四日 千葉県北部

市川市法華経寺にて開催

テーマ「地域貢献できるお寺」～これから必要とさ

れるお寺とは』

基調講演「地域に貢献出来るお寺について ごち

やまぜで生きる地域社会」

雄谷良成師（石川県蓮昌寺住職、社会

福祉法人佛子園理事長）

8分散会

全体会議

●第四十一回京浜教区教化研究会議

平成二十九年二月二十四日 東京都西部

新宿区常圓寺にて開催

テーマ「信仰の継承ーこれから檀家制度はどうな

っていくのだろうかー」

基調講演「信仰の継承」

猪瀬優理氏（龍谷大学社会学部准教

授）

第1分科会「檀家制度をどのように考えている

か」

第2分科会「宗派に自信を持っているか」

第3分科会「信仰（信心）を伝えているか」

全体会議

●第二十三回北関東教区教化研究会議

平成二十九年二月二十七日 埼玉県

ホテルブリランテ武蔵野にて開催

テーマ「選択される葬送ー問われる供養のカタチ

ー」

基調講演『樹木葬という選択』

田中淳夫氏（森林ジャーナリスト）

ワークショップ

パネルディスカッション

●第四十一回山静教区教化研究会議

平成二十九年三月十六日 山梨県第二部

身延山大学にて開催

テーマ「ぶっちゃけ教研会議」ー肩書きはずして

語り合おうー

基調講演「教化研究会議と教化センターについ

て」

田澤元泰師（千葉県妙弘寺住職、前現

代宗教研究所長）

第1分科会「私はこんな質問でヒヤリ、ハッとしました！」

見！！」

第2分科会「ドキドキ、ワクワク、宗門再発

るの？」

第3分科会「ハラハラ、モヤモヤ、お寺はどうな

全体会議

【3】 研究集会

●京都一部教化学研究集会

平成二十八年十一月十八日 京都一部

京都市妙顕寺にて開催

テーマ「寺院の未来を見つめる」『人口減少社会

と日蓮宗寺院―現状と可能性について

―』

講演「人口減少社会と寺院」

櫻井義秀氏（北海道大学大学院文学研究科

教授）

3分散会

講演「寺院管理上の注意点」

河崎俊宏師（石川県妙相寺住職、日蓮宗人
権推進委員会委員）

●千葉県西部教化学研究集会

平成二十九年二月二十四日 千葉県西部

木更津市光明寺にて開催

テーマ「現代の在家の仏壇事情とこれからの対

応」

講演「現代の在家の仏壇事情とこれからの対応

―実際に様々な仏壇を拝す」

山本裕基氏（株式会社山本仏具店勤務）

グループワーク

全体会議

●福井県北部教化学研究集会

平成二十九年二月二十七日 福井県北部

福井市妙長寺にて開催

テーマ「檀林の源流と展開」

講演「檀林の源流と展開」

木村中一師（東京都法養寺住職、身延山大

学准教授）

デイスカッション

2、研究・調査活動

【1】下記の各プロジェクトチームにおいて、それぞれ

研究・調査を進めた。

●現代教化学部門

〈古河良啓・蓮見高円・中井本蓉・藤崎善隆・小瀬修達・吉木祥介・マコーミック龍英・齋藤宣裕・本間文裕各研究員、鈴木隆泰・灘上智生・伊藤瑞康・渡邊英晃・柴田章延・木村匡宏各嘱託〉

①現代教化学研究（法華経、興門系教団教学、カルト）

②科学と宗教（生命倫理、環境等）

③海外宗教研究

●現代教団部門

〈岩田親静・小林康洋・鈴木是妙・池浦英晃・河崎俊宏・津幡法胤・鶏内泰寛・延本妙泉・山口功倫・原一彰各研究員、坂輪宣政・山田孝行・石原顕正・野村佳正・中村龍央・松田英秀・成田東吾各嘱託〉

①社会と宗教（人権、家族、貧困）

②社会と寺院（人口減少、過疎地寺院、防災）

③日蓮宗近現代史（日蓮宗アーカイブズ）

④IT（中央教化センター機能、相互ウェブ会議、

現宗研HP）

●教研会議と教化センター

〈岩田親静・蓮見高円・藤崎善隆・河崎俊宏・津幡法胤・鶏内泰寛・延本妙泉各研究員、鈴木隆泰・灘上智生・伊藤瑞康・柴田章延各嘱託〉

●墓地使用約款特別PT

〈古河良啓・藤崎善隆・小林康洋各研究員、木村匡

宏嘱託〉

●年次年表作成会議

〈山口功倫・齋藤宣裕各研究員、坂輪宣政嘱託〉

●中濃教篤資料調査PT

〈池浦英晃・山口功倫・齋藤宣裕各研究員、坂輪宣政嘱託〉

●研究例会

〈古河良啓・岩田親静・蓮見高円・中井本蓉・藤崎

善隆・小林康洋・鈴木是妙・池浦英晃・小瀬修

達・河崎俊宏・津幡法胤・鶏内泰寛・吉木祥介・

延本妙泉・山口功倫・齋藤宣裕・本間文裕・原一

彰各研究員)

●顧問会

(田澤元泰・蓑輪顕量・星光諭・石川浩徳・中村潤

一各顧問)

【2】公開研究会を開催した。

●平成二十八年十月二十六日、宗務院に於いて第十

七回日蓮宗化学研究発表大会を開催した。

「今、宮沢賢治を考える」

齋藤宣裕師(秋田県法華寺修徒・現宗研究員)

「奥の院に立つ四恩杉の原点」

三谷祥祁師(大阪府観世音寺住職)

「教化の目的と手段」

大場唯央師(静岡県大慶寺修徒)

「伝わるからだの探求④―セロ弾きのゴーシュを

模範的に色読して―」

釈一祐師(岐阜県寶光寺住職)

「次世代教育への二三の留意点」

森下龍浄師(長崎県日誠寺住職)

「宗教音楽と教化を考える」

西口玄修師(栃木県妙建寺住職・現宗研元嘱託)

「重症心身障がい児の地域生活について」

大野真如師(佐賀県勝嚴寺修徒)

「近代山梨県下における日蓮宗記念事業の研究―

地方紙に見る「御降誕七〇〇年」の様相―」

鈴木義俊師(山梨県法元寺修徒・山梨県第四部

教化センター事務局長)

「十年間の成功と失敗」から得たニュートラル

ポジション」

尾藤宏明師(千葉県本光寺住職)

「山形県米沢市日朝寺安置五輪塔の一考察―その

由来とその意義について―」

玉木晃仁師(山形県玉泉寺住職)

「近現代哲学の認識問題から教化を考える」

石伏叡齋師(兵庫県廣濟寺住職・現宗研元研究

員)

「寺と社会を考えるーもし、自分のお寺が避難所
になったらー」

石原顕正師（山梨県立本寺住職・現宗研囑託）

特別発表「過疎地域における寺檀関係の持続可能

性ー他出子の動向に注目してー」

中條曉仁師（静岡県本能寺修徒・静岡

大学教育学部准教授）

- 平成二十九年二月一日、宗務院に於いて第二十六
回法華経・日蓮聖人・日蓮教団論研究セミナーを
開催した。

テーマ「唱題成仏を問うー教化学の側面から考え

る」

発題「なぜ〈唱題成仏を問う〉のか」

三原正資（現宗研所長）

講演「修行道の観点から唱題成仏を問う」

蓑輪顕量師（東京大学大学院教授・千葉県

龍蔵寺修徒・現宗研顧問）

発表「実践的立場から唱題成仏を考える」

影山教俊師（千葉県釈迦寺住職・現宗研元

主任・同元顧問）

高佐官長師（全日仏社会人権部長・東京都

善行院住職・現宗研前主任）

赤堀正明師（千葉県常不軽寺住職・現宗研

元主任）

質疑応答及びディスカッション

【3】現地調査

- 十一月二十四日～二十五日、新潟県真浄寺に於い
て、現地調査を行った。

- 十一月三十日～十二月二日、平成二十八年度研究
員現地調査を行った。

- 平成二十九年一月十四日～十五日、新潟県真浄寺
に於いて、現地調査を行った。

- 平成二十九年三月十四日、東京都新宿区市ヶ谷駐
屯地内に於いて、立正平和運動調査を行った。

3、出版・資料収集

【1】「現代宗教研究」第五十一号を編集し、配付予定。

【2】教団史研究資料の一つとして、各種資料より「平

成二十七年日蓮宗年表」を作成し、配付予定。

【3】「現代宗教研究」別冊として、「教化学研究8」を作成し、配付予定。

【4】新宗教関係資料を収集し、保管した。

【5】各種伝道教化に関する資料を収集し、保管した。

【6】伝道・教化・研究に必要な図書を購入した。

【7】今年度購入・寄贈図書のコンピュータ管理のための蔵書整理とデータ作成を行った。

4、研究交流・会議

【1】四月十四日、中山身語正宗大本山瀧光徳寺に於いて、「教団付置研究所懇話会 第十五回年次大会」第二回実行委員会」が開催され、出席した。

【2】五月十九日、宗務院に於いて、「教区教研連絡会議」を開催した。各教区教研の前年度運営委員代表と本年度運営委員代表、及び次年度運営委員代表が出席して、前年度の報告と本年度の計画を聞き、教研会議運営について話し合った。

【3】五月二十日、宗務院に於いて、「教化センター連絡会議」を開催した。会議では、各センター発行の布教・教化・伝道資料の交換が行われるとともに、

に、センター運営に関する問題点と各センター間の交流推進について話し合った。

【4】六月四日、立正大学に於いて、「日本近代仏教史研究会 第二十四回研究大会」が開催され、出席した。

【5】六月八日、浄土真宗本願寺派光明寺に於いて、「お寺葬1dayセミナー」が開催され、出席した。

【6】六月二十五日、東洋大学に於いて、「第一回法華仏教研究発表会」が開催され、出席した。

【7】七月二十一日、東京ビッグサイトに於いて、「文化財保存・復元技術展」が開催され、出席した。

【8】七月二十六日、中山身語正宗大本山瀧光徳寺に於いて、「教団付置研究所懇話会 第十五回年次大会」第三回実行委員会」が開催され、出席した。

【9】七月三十日、上智大学に於いて、「上智大学大学院実践宗教学研究科開設記念シンポジウム」が開催され、出席した。

【10】八月二十二日、東京ビッグサイトに於いて、「エ

- ンディング産業展二〇一六」が開催され、出席した。
- 【11】 九月三日～四日、東京大学に於いて、「日本印度学仏教学会 第六十七回学術大会」が開催され、出席した。
- 【12】 九月十日～十一日、早稲田大学に於いて、「日本宗教学会 第七十五回学術大会」が開催され、出席した。
- 【13】 九月十二日、立正大学に於いて、「モラリす湛山塾「湛山先生の思想と業績を学ぶ」」が開催され、出席した。
- 【14】 九月十三日、仏教伝道センタービルに於いて、「BDKシンポジウム第二回「ココロのゆくえ×教育・今、病みゆく子どもたち：宗教に求められていること」」が開催され、出席した。
- 【15】 九月十五日、京都大学に於いて、「臨床仏教公開シンポジウム」が開催され、出席した。
- 【16】 九月十六日、明照会館に於いて、「第一回法務執行に関する協議会」が開催され、出席した。
- 【17】 九月二十三日、なはんプラザ・宮沢賢治イーハトーブ館に於いて、「第二十六回宮沢賢治学会イーハトーブセンター定期大会」が開催され、出席した。
- 【18】 九月二十九日、中山身語正宗大本山瀧光徳寺に於いて、「教団付置研究所懇話会 第十五回年次大会」が開催され、出席した。
- 【19】 九月三十日、仏教伝道センタービルに於いて、「葬式仏教価値向上委員会 第十二回研究会」が開催され、出席した。
- 【20】 十月一日、立正大学に於いて、「日本仏教社会福祉学会 五十周年記念大会」が開催され、出席した。
- 【21】 十月五日、ガーデンシティ名古屋新幹線口に於いて、「永代供養墓・納骨堂運営セミナー in 名古屋」が開催され、出席した。
- 【22】 十月二十一～二十二日、立正大学に於いて、「第六十九回日蓮宗教学研究発表大会」が開催され、出席した。

【23】 十月二十二日、花園大学に於いて、「花園大学心理カウンセリングセンター公開講演会」が開催され、出席した。

【24】 十月二十六日、東京大学仏教青年会会館ホールに於いて、「第三期臨床仏教師養成プログラム 臨床仏教公開講座 第二講」が開催され、出席した。

【25】 十月二十八日、明照会館に於いて、「大蔵経テキストデータベース公開講座」が開催され、出席した。

【26】 十一月二日、明照会館に於いて、「第二回法務執行に関する協議会」が開催され、出席した。

【27】 十一月二日、浄土真宗本願寺派光明寺に於いて、「お寺のための安心会計1day教室」が開催され、出席した。

【28】 十一月九日、東京大学仏教青年会会館ホールに於いて、「第三期臨床仏教師養成プログラム 臨床仏教公開講座 第三講」が開催され、出席した。

【29】 十一月十一日～十二日、叡山学院に於いて、「第五十八回天台宗教学大会」が開催され、出席した。

【30】 十一月十二日、淑徳大学に於いて、「シンポジウム 吉田久一の歴史研究を問う―社会福祉史と近代仏教史の立場から―」が開催され、出席した。

【31】 十一月十二日、豊島区ホテルメトロポリタンに於いて、「日本「祈りと救いところ」学会 第三回學術研究大会」が開催され、出席した。

【32】 十一月二十日、武蔵野大学に於いて、「武蔵野大学通信教育部 生涯学習日曜講演会 第五八五回『法華経と浄土三部経』」が開催され、出席した。

【33】 十一月二十二日、浄土宗宗務庁に於いて、「浄土宗総合研究所公開シンポジウム」が開催され、出席した。

【34】 十一月二十三日、甲府市びゅあ総合に於いて、「石橋内閣六十年記念シンポジウム―今、石橋湛山に何を学ぶか―」が開催され、出席した。

【35】 十一月二十六日、日本学術会議講堂に於いて、「公開シンポジウム〈いのち〉はいかに語りうるか?」が開催され、出席した。

【36】 十二月二日、明照会館に於いて、「第三回法務執

- 行に関する協議会」が開催され、出席した。
- 【37】 十二月三日、武蔵野大学に於いて、「武蔵野大学
仏教文化研究所 平成二十八年度連続公開講座第
六回」が開催され、出席した。
- 【38】 十二月五日、熊本大学に於いて、「被災地におけ
る人々のケア」宗教者の役割とその連携の可能性
―熊本地震シンポジウム」が開催され、出席した。
- 【39】 十二月七日、浄土宗総合研究所に於いて、「教団
付置研究所懇話会「生命倫理研究部会 第十六回
研究交流会」が開催され、出席した。
- 【40】 十二月十日、龍谷大学に於いて、「第七回宗教と
環境シンポジウム」が開催され、出席した。
- 【41】 十二月十日、立正佼成会佼成図書館に於いて、
「宗教と宗教学のあいだ」シンポジウム」が開催
され、出席した。
- 【42】 十二月十七日、立正大学に於いて、「第四回石橋
湛山研究学会」が開催され、出席した。
- 【43】 十二月二十一日、仏教伝道センタービルに於いて、
「葬式仏教価値向上委員会 第13回研究会」が
開催され、出席した。
- 【44】 十二月二十三日、東京大学に於いて、「西村玲氏
追悼研究会」近世日本仏教思想研究の過去と現
在」が開催され、出席した。
- 【45】 平成二十九年一月十一日、東京大学仏教青年会
館ホールに於いて、「第三期臨床仏教師養成プロ
グラム 臨床仏教公開講座 第七講」が開催され、
出席した。
- 【46】 一月十七日、日蓮宗宗務院に於いて、「第五回全
青協加盟教団教化部門代表者会議」が開催され、
出席した。
- 【47】 一月二十五日、親鸞仏教センターに於いて、「第
十六回親鸞仏教センター研究交流サロン」が開催
され、出席した。
- 【48】 一月二十九日、佛敎大学に於いて、「佛敎大学総
合研究所「現代社会における宗教の力」プロジェ
クト 公開シンポジウム」が開催され、出席した。
- 【49】 二月二日、三日、五城目町地域活性化支援センタ
ーに於いて、「高齢化する社会をデザインするワ

ークシヨップ」が開催され、出席した。

- 【50】二月十日、東京国際フォーラムに於いて、「第三十回法華宗教学研究発表大会」が開催され、出席した。

- 【51】二月十八日、大正大学に於いて、「(公財)国際宗教学研究所主催公開シンポジウム」が開催され、出席した。

- 【52】二月十八日、國學院大學に於いて、「平和科学研究二〇一六年度第三回研究会 科学研究費補助金 基盤研究「戦後日本の宗教者平和運動のトランスナショナル・ヒストリー研究」」が開催され、出席した。

- 【53】二月二十日、浄土宗増上寺光撰殿に於いて、「浄土宗総合研究所公開シンポジウム」が開催され、出席した。

- 【54】二月二十三日、築地本願寺聞法ホールに於いて、「自死・自殺に向き合う僧侶の会 分かち合い『いのちのつどい』並びに定例会」に出席した。

- 【55】三月四日、武蔵野大学に於いて、「武蔵野大学仏

教文化研究所 平成二十八年特別公開講座」に出席した。

- 【56】三月四日、築地本願寺本堂に於いて、「シンポジウムご縁」に出席した。

- 【57】三月十四日、聖路加国際病院本館トイスラーホールに於いて、「日本宗教連盟第五回宗教文化セミナー」に出席した。

- 【58】三月十六日、いちようホールに於いて、「葬送のあり方を考えるシンポジウム」に出席した。

- 【59】三月二十三日、築地本願寺聞法ホールに於いて、「自死・自殺に向き合う僧侶の会 分かち合い『いのちのつどい』並びに定例会」に出席した。

- 【60】三月二十八日、仏教伝道センタービルに於いて、「葬式仏教価値向上委員会 第十四回研究会」が開催され、出席した。

- 【61】三月三十日、浄土宗総合研究所に於いて、「教団付置研究所懇話会「生命倫理研究部会 第十七回研究交流会」」が開催され、出席した。

5、講演

【1】身延山大学仏教学部講義

平成二十八年十一月二十二日開催 身延山大学

講義「日蓮宗の現状と課題一」

櫻井義久（現代宗教研究所主任）

【2】民進党仏教議員連盟総会

平成二十八年十一月二十八日開催

参議院議員会館

講話「仏教が伝えたいこと」

三原正資（現代宗教研究所長）

【3】身延山大学仏教学部講義

平成二十八年十二月十三日開催 身延山大学

講義「日蓮宗の現状と課題二」

櫻井義久（現代宗教研究所主任）